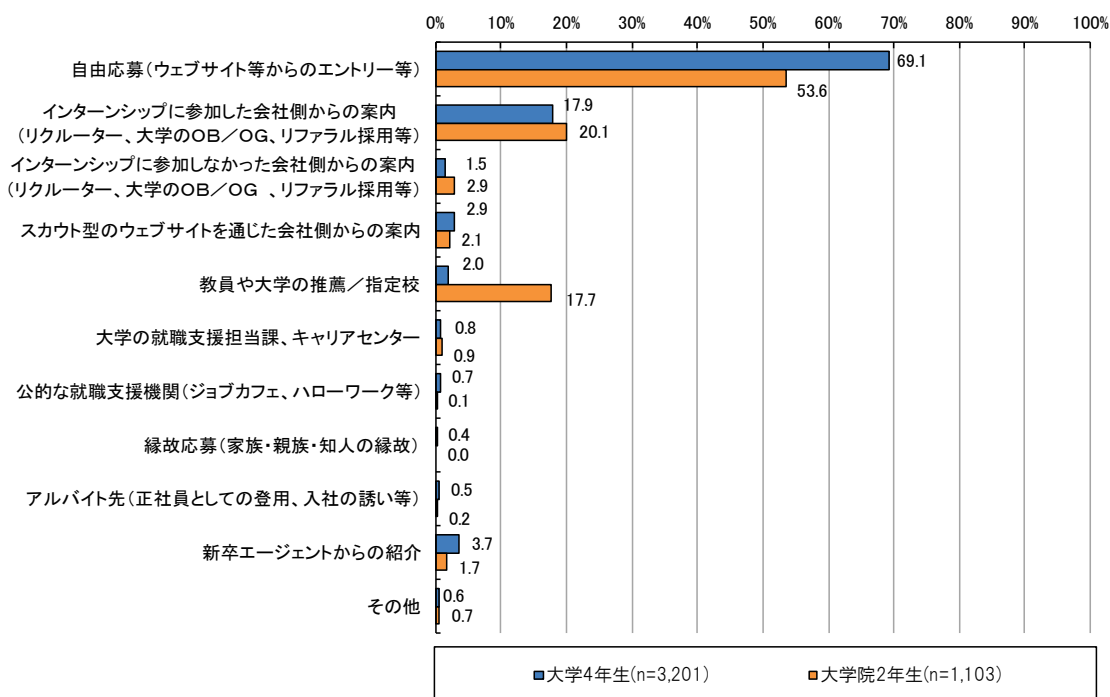


第6章 就職予定の企業への入職経路別の集計

①入職経路に関する回答状況

内々定を受けた者に関して、就職予定の企業についてどのような経路で採用試験・面接等を受けたかについて集計すると¹²⁰、大学4年生・大学院2年生ともに、「自由応募（ウェブサイト等からのエントリー等）」の回答割合が最も高く、大学4年生で約7割、大学院2年生では約5割となっている。また、特に理系の学生についてみると、「教員や大学の推薦／指定校」の回答割合が比較的高くなっており、大学院2年生では約2割となっている。

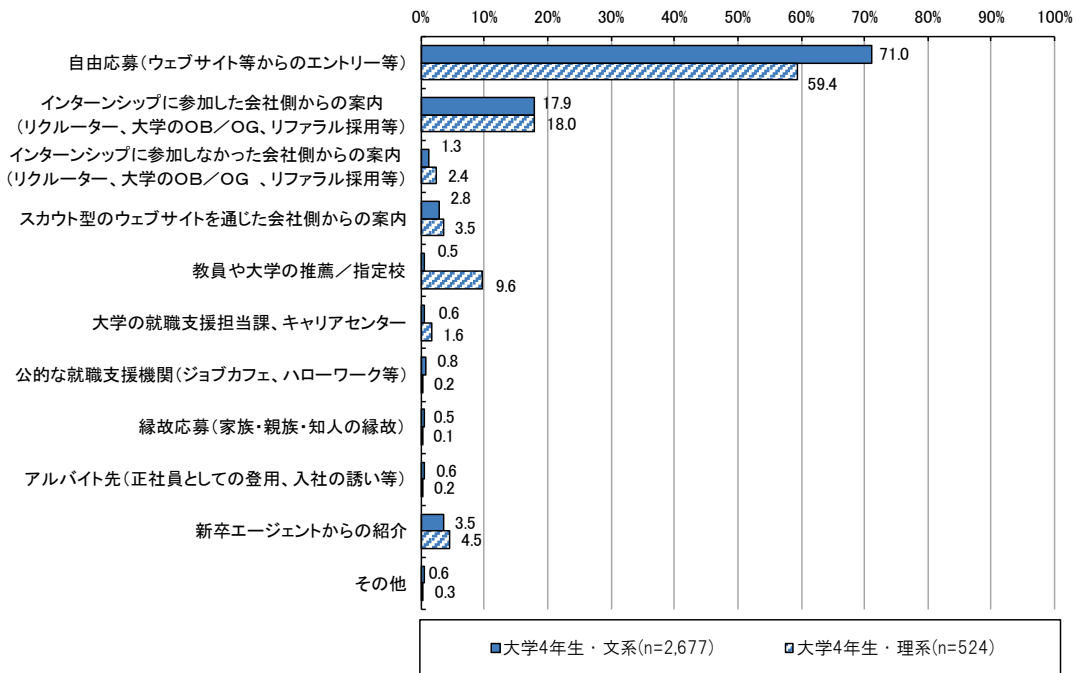
図表 6-1-1 就職予定の企業についてどのような経路で採用試験・面接等を受けたか



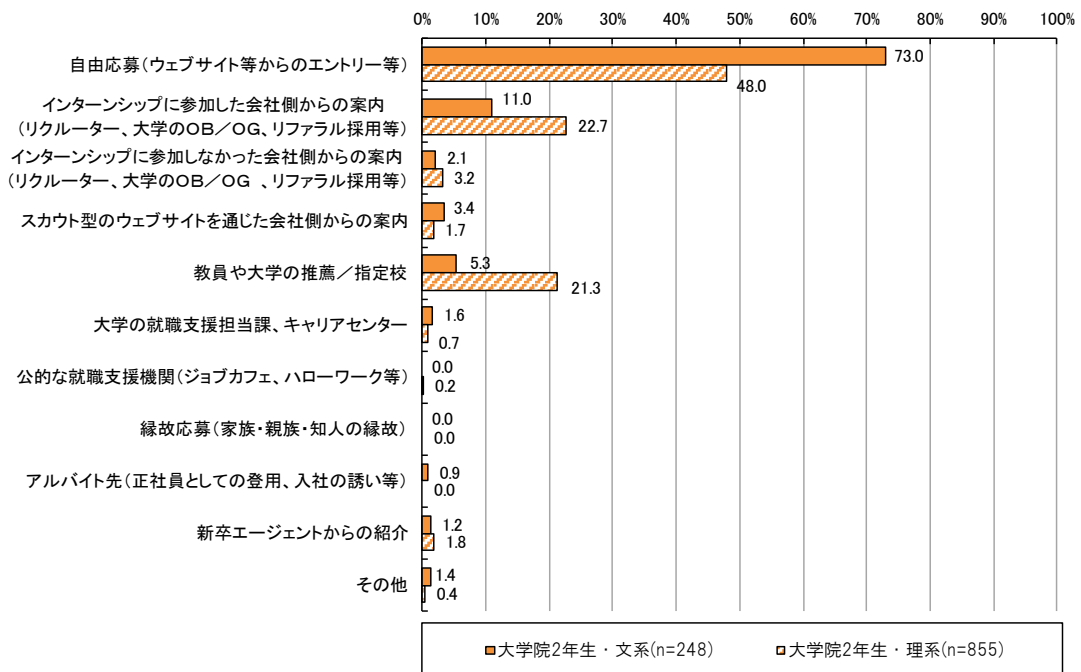
¹²⁰ 就職予定の企業について、選択肢よりひとつのみ回答する方式によるものである。第6章における図表6-2-1以降の集計は、就職予定の企業の入職経路に関する回答を基に分類して行ったものである。なお、2019年度調査では「リクルーター」「リファラル採用」「新卒エージェント」、さらに今年度調査では新しく設定した「スカウト型のウェブサイト」の項目に、それぞれ用語説明を付した。

図表 6-1-2 文系理系別、就職予定の企業についてどのような経路で採用試験・面接等を受けたか

(大学4年生)



(大学院2年生)

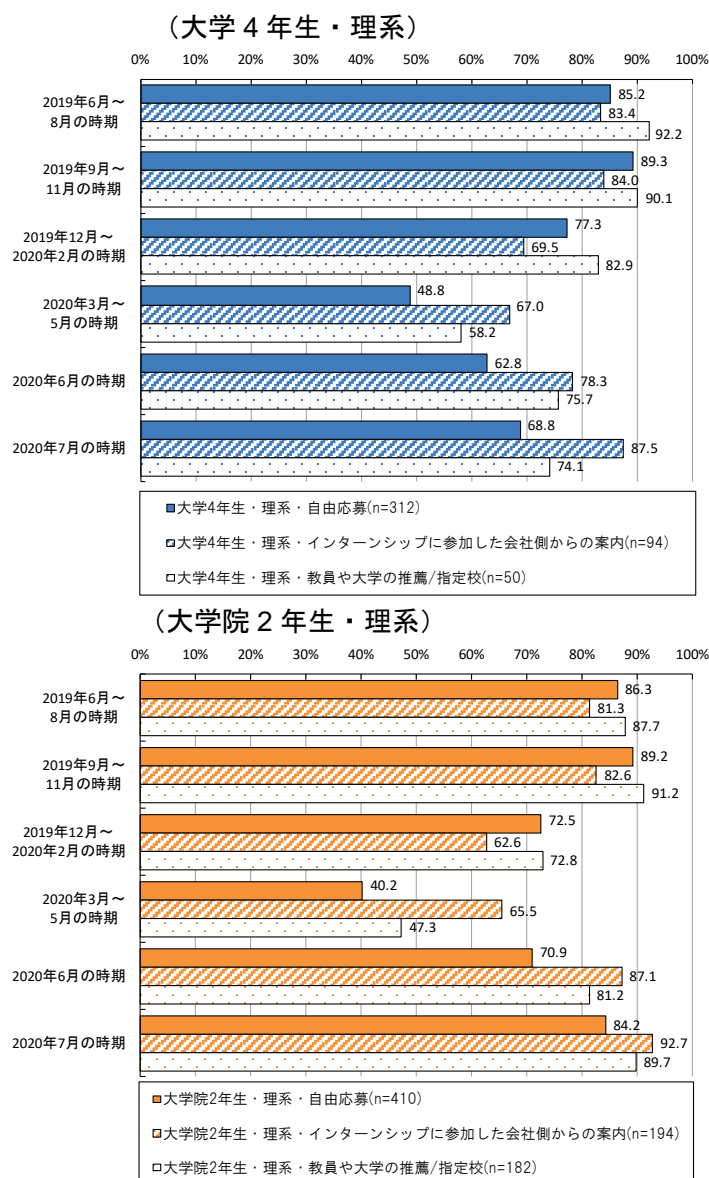


②就職予定の企業への入職経路別の就職活動と学修時間確保の状況

入職経路に関する回答状況をふまえ、理系の学生について¹²¹、就職予定の企業に関して「自由応募（ウェブサイト等からのエントリー等）」であった者、「インターンシップに参加した会社側からの案内（リクルーター、大学のOB/OG、リファラル採用等）」であった者、「教員や大学の推薦/指定校」であった者の3つに分類し、それぞれの就職活動の状況等に違いがあるかについて集計した¹²²。

就職活動と学修時間確保の状況について、「十分学修時間を確保できた」、「必要な学修時間は確保できた」、「一定の学修時間は確保できた」のいずれかを回答した割合を集計すると、大学4年生・大学院2年生ともに、卒業・修了前年度の3月～卒業・修了年度の7月の時期において、「自由応募」であった者は他の者と比較して「学修時間が確保できた」の回答割合が低い傾向にある。

図表 6-2-1 就職予定の企業への入職経路別、就職活動と学修時間確保の状況



※就職活動との関係で学修時間の確保ができたかどうかを尋ねた設問について、「就職活動の影響をほとんど受けることなく十分学修時間を確保できた」、「就職活動に少し時間を割くことがあったが、必要な学修時間は確保できた」、「就職活動に時間を割くことがあったが、一定の学修時間は確保できた」のいずれかを回答した割合

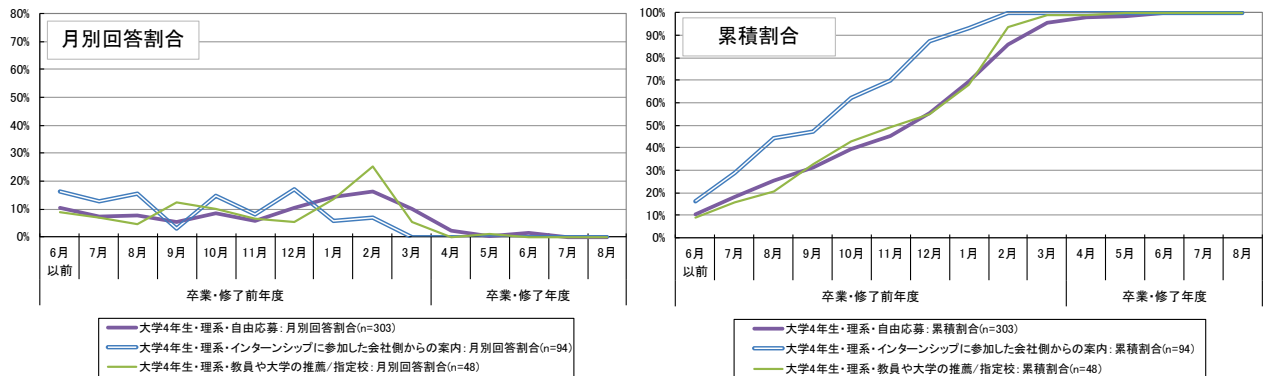
¹²¹ 文系の学生は、分類別の集計を行うと対象件数が非常に少なくなることから、ここでは、理系の学生のみ対象として集計を行った（以降第6章⑩まで同じ）。

¹²² 一部集計対象の度数が少なくなっている点には留意が必要である。

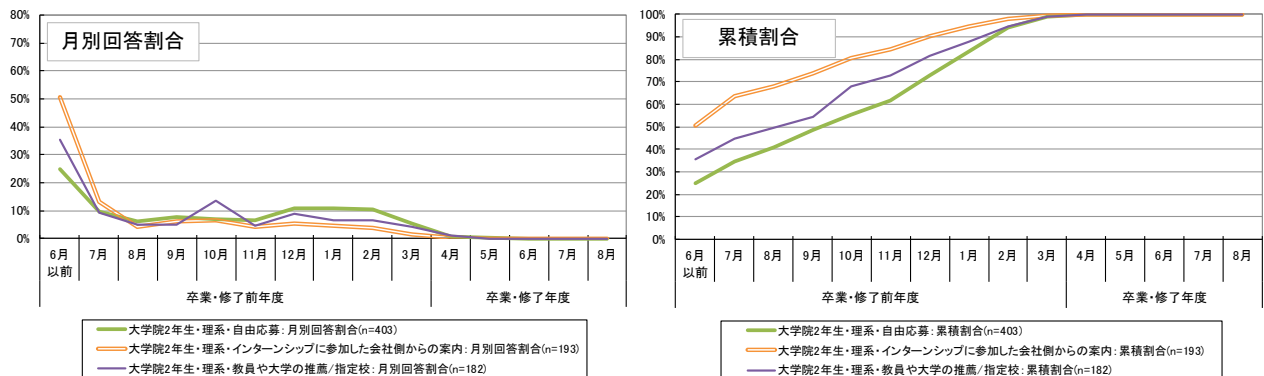
③就職予定の企業への入職経路別の業界や企業に関する分析を開始した時期

就職予定の企業への入職経路別に、理系の学生の業界や企業に関する分析を開始した時期を集計すると¹²³、大学4年生・大学院2年生ともに、「インターンシップに参加した会社側からの案内」であった者でより早期の回答割合が高くなっている。

図表 6-3-1 就職予定の企業への入職経路別、業界や企業に関する分析を開始した時期
(大学4年生・理系)



(大学院2年生・理系)

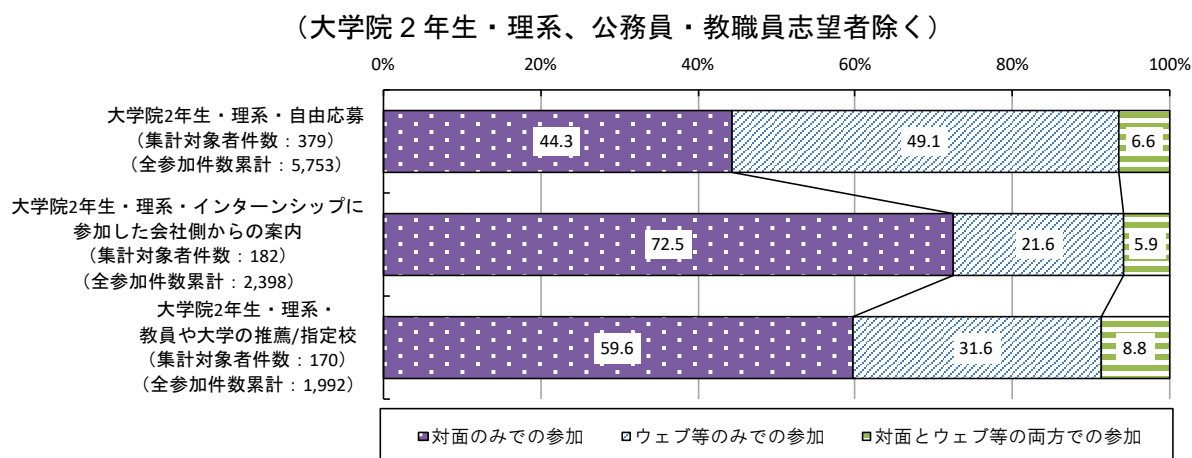
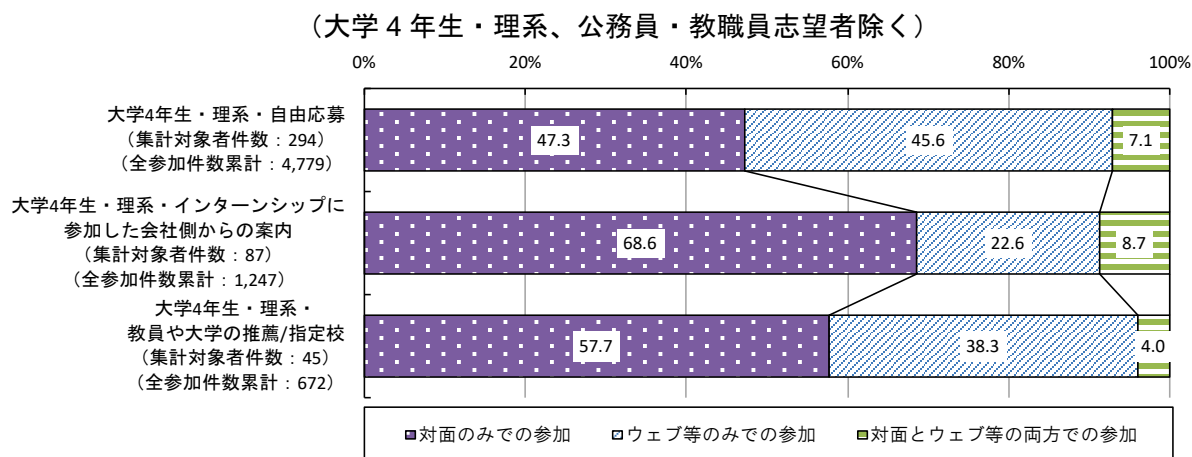


¹²³ 業界や企業に関する分析について「特段行わなかった」と回答した者は集計の対象外とした。

④就職予定の企業への入職経路別の企業説明会やセミナー等への参加数に対する方法別参加数の割合

就職予定の企業への入職経路別に、理系の学生の企業説明会やセミナー等について参加した方法別のすべての企業数を累計¹²⁴し、参加方法別の件数が占める割合を集計したところ、「インターンシップに参加した会社側からの案内」であった者について、大学4年生・大学院2年生ともに「ウェブ等のみでの参加」の回答割合が、他の者と比較して低くなっている。

図表 6-4-1 就職予定の企業への入職経路別の参加した企業説明会やセミナー等の参加方法との関係
(参加した企業説明会やセミナー等の企業数累計による集計)

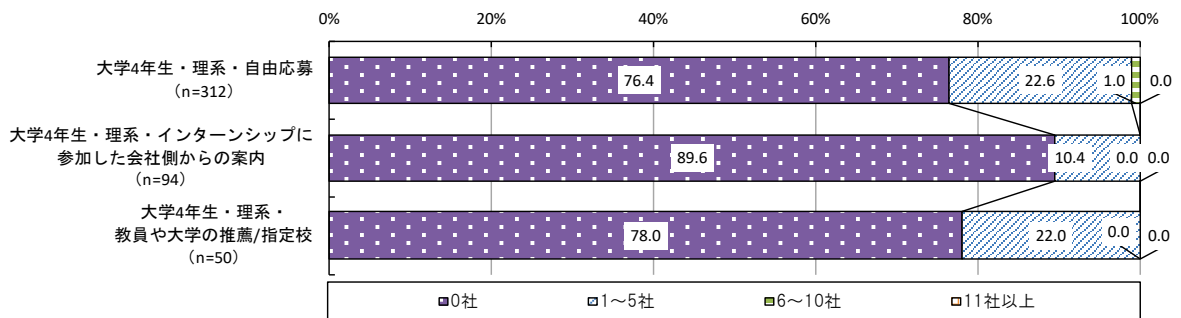


¹²⁴ 今年度調査においては、合計で何社の企業説明会やセミナー等に参加したかを尋ねる設問と、対面での参加、ウェブ等での参加の方法別に尋ねる設問を設けているが、前者の「参加した合計の企業数」と後者の「方法別で尋ねた企業数」の合計は必ずしも一致せずとも回答が可能ないように設定したことから、前者ではなく後者の合計を用いて累計の値とした。

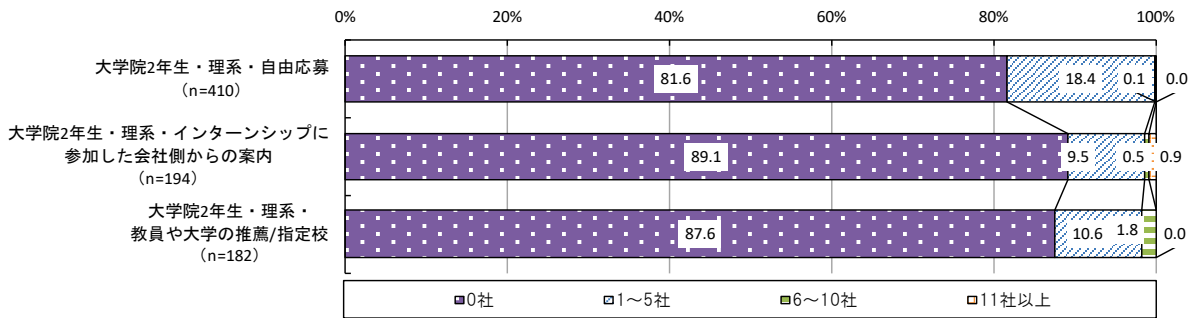
⑤就職予定の企業への入職経路別の対面で実施された企業説明会やセミナー等における参加動向

就職予定の企業への入職経路別に、理系の学生の参加を予定していた企業説明会やセミナー等で、対面で実施されることを理由として、自ら参加を取りやめたものについて集計したところ、大学4年生・大学院2年生ともに、「自由応募」であった者で1社以上と回答した割合が他の者と比べて高くなっている。

図表 6-5-1 就職予定の企業の入職経路別、対面で実施されることが理由で参加を取りやめた企業説明会やセミナー等の企業数
(大学4年生・理系)



(大学院2年生・理系)



⑥就職予定の企業への入職経路別の採用面接の実施状況

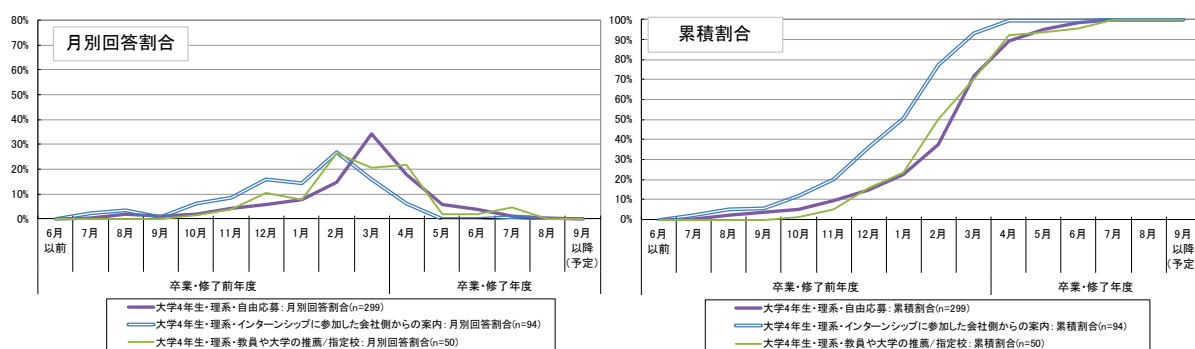
就職予定の企業への入職経路別に、理系の学生の採用面接の実施状況を集計すると¹²⁵、大学4年生・大学院2年生ともに、「インターンシップに参加した会社側からの案内」であった者は全体としてより早期の回答割合が高く、「自由応募」であった者は特に「ピーク」「最後の時期」においてより遅い時期の回答割合が比較的高くなっている。

なお、大学4年生の採用面接の企業数の平均値は、「自由応募」であった者は8.6社、「インターンシップに参加した会社側からの案内」であった者は6.0社、「教員や大学の推薦/指定校」であった者は5.4社となっている。大学院2年生では、「自由応募」であった者は7.8社、「インターンシップに参加した会社側からの案内」であった者は4.1社、「教員や大学の推薦/指定校」であった者は4.8社となっている。

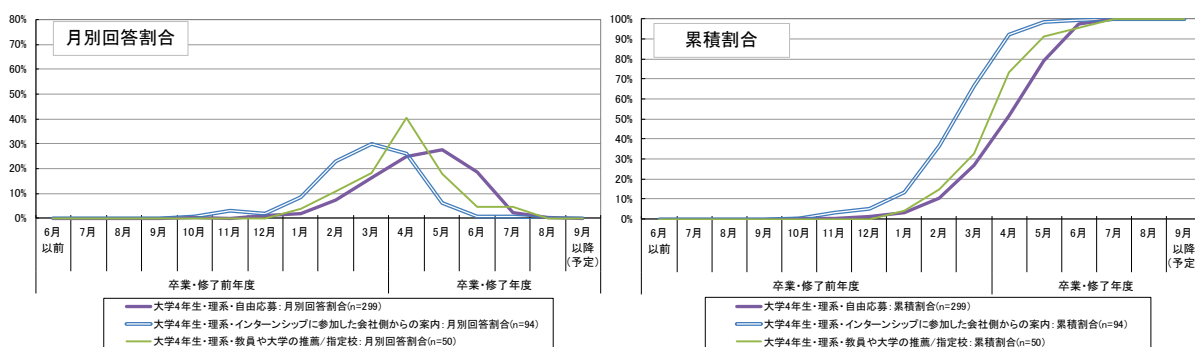
図表 6-6-1 大学4年生・理系の就職予定の企業の入職経路別、採用面接の実施時期

(公務員・教職員志望者除く)

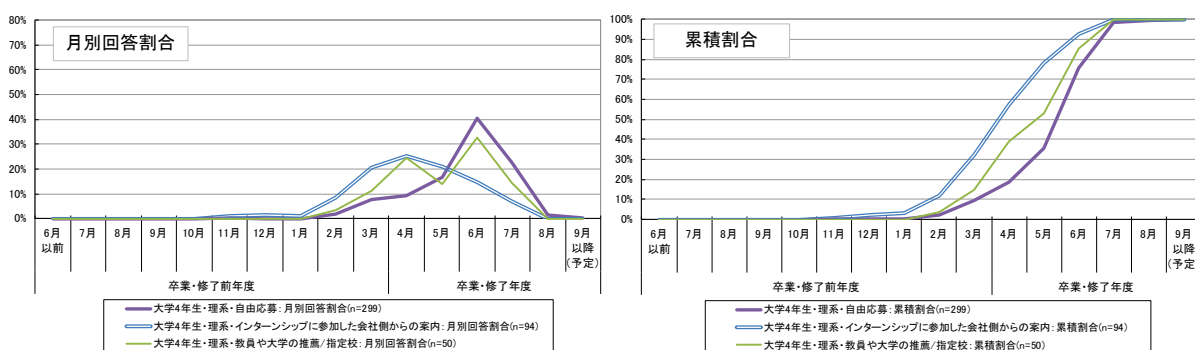
<最初に受けた採用面接の時期>



<採用面接のピーク>



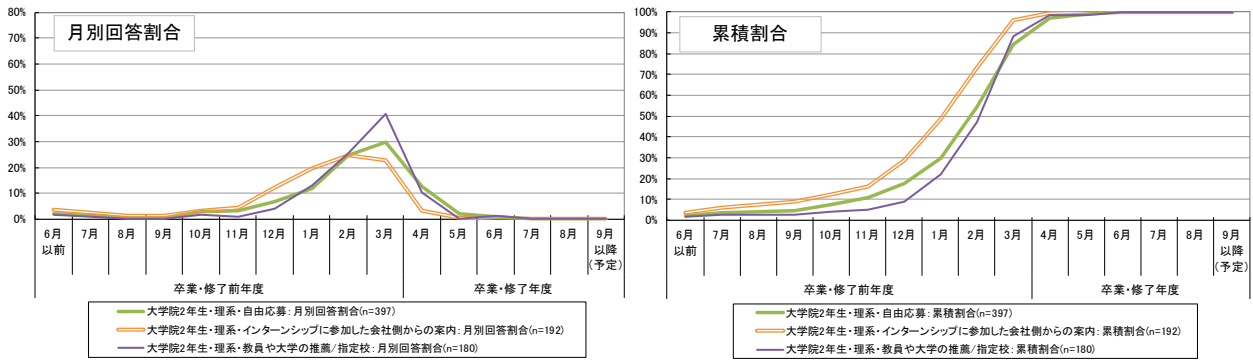
<最後に受けた採用面接の時期>



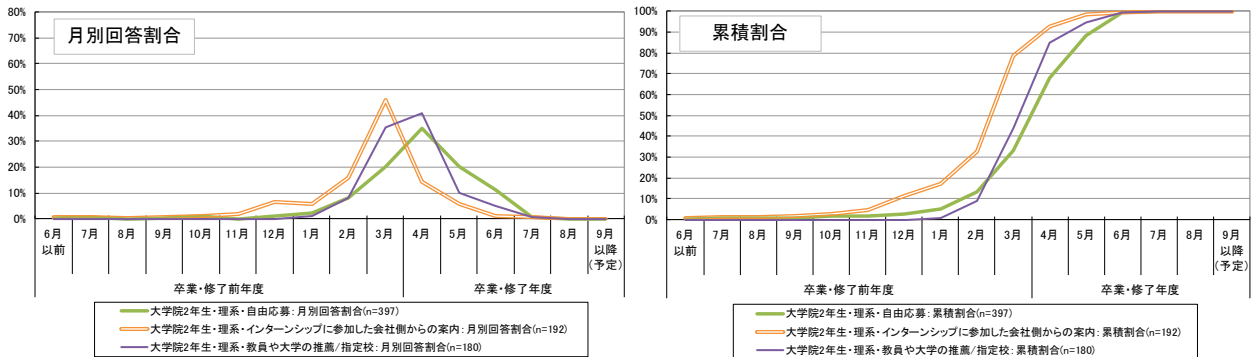
¹²⁵ 公務員や教職員志望者に関しては、調査実施時点で採用の面接等が行われていないと想定されたことから、ここでは集計の対象外とした。また、その上で、採用面接について「特段行わなかった」と回答した者は集計の対象外とした。

図表 6-6-2 大学院2年生・理系の就職予定の企業の入職経路別、採用面接の実施時期
(公務員・教職員志望者除く)

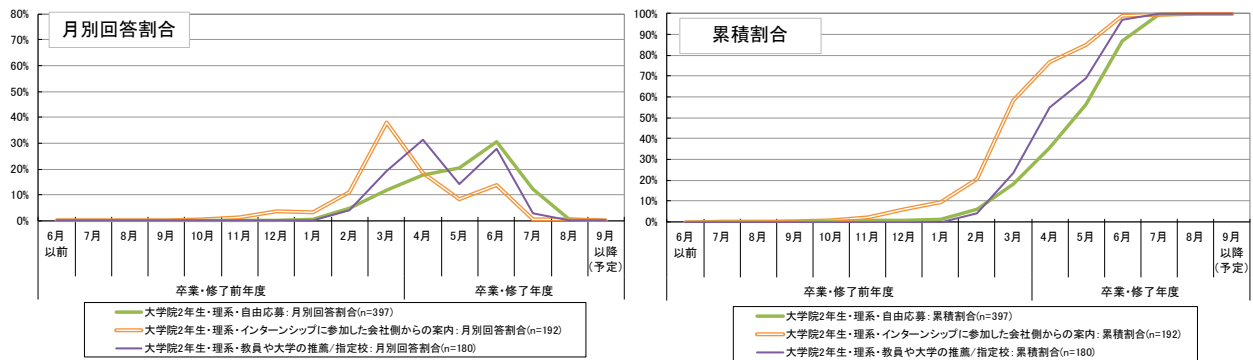
<最初に受けた採用面接の時期>



<採用面接のピーク>



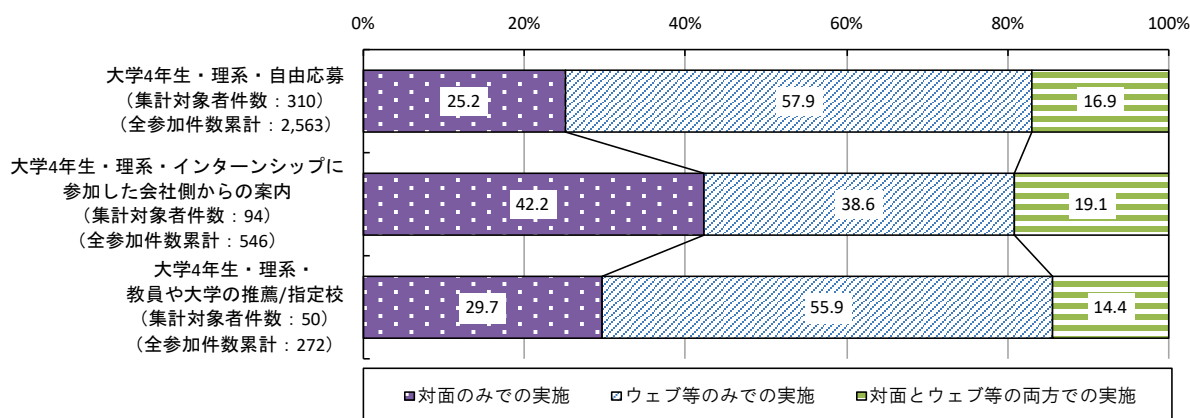
<最後に受けた採用面接の時期>



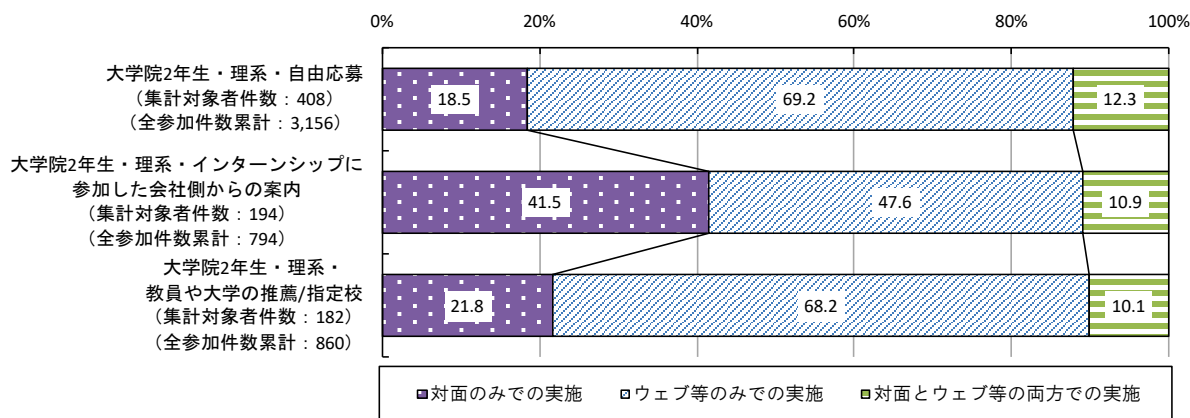
⑦就職予定の企業への入職経路別の採用面接を受けた企業数に対する方法別実施数の割合

就職予定の企業への入職経路別に、理系の学生の採用面接について実施された方法別のすべての企業数を累計¹²⁶し、実施方法別の件数が占める割合を集計したところ、大学4年生・大学院2年生ともに、「インターンシップに参加した会社側からの案内」であった者の「ウェブ等のみでの実施」の回答割合が比較的低くなっている。

図表 6-7-1 就職予定の企業の入職経路別、実施された採用面接の実施方法との関係
(実施された採用面接の企業数累計による集計)
(大学4年生・理系)



(大学院2年生・理系)



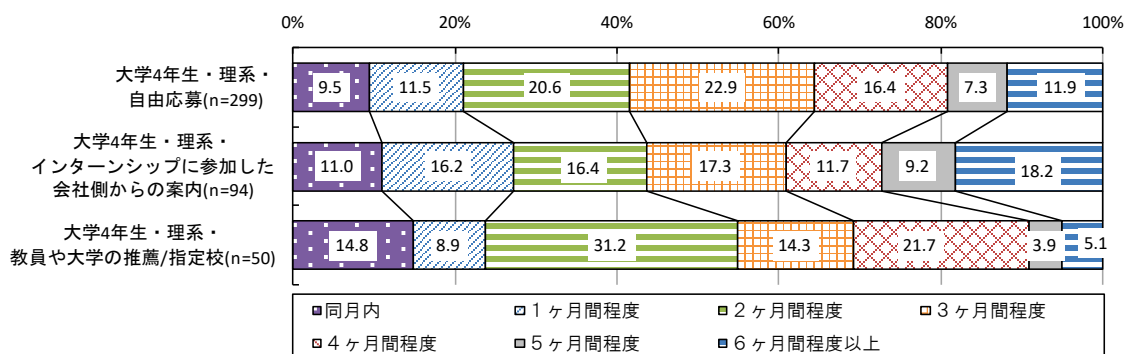
¹²⁶ 今年度調査においては、合計で何社の採用面接を受けたかを尋ねる設問と、対面での実施、ウェブ等での実施の方法別に尋ねる設問を設けているが、前者の「実施された合計の企業数」と後者の「方法別で尋ねた企業数」の合計は必ずしも一致せずとも回答が可能ないように設定したことから、前者ではなく後者の合計を用いて累計の値とした。

⑧就職予定の企業への入職経路別の最初に受けた採用面接から最後に受けた採用面接までの期間

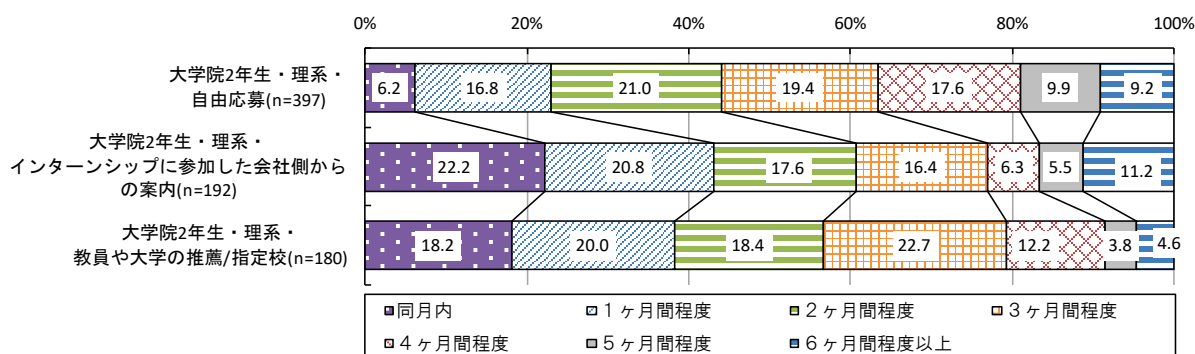
就職予定の企業への入職経路別に、理系の学生の「最初に受けた採用面接の時期」¹²⁷から「最後に受けた採用面接の時期」までの期間¹²⁸を集計すると¹²⁹、大学4年生・大学院2年生ともに、「自由応募」であった者は、「1ヶ月間程度」以下の期間の割合が低くなっている。

図表 6-8-1 就職予定の企業への入職経路別、最初に受けた採用面接から最後に受けた採用面接までの期間

(大学4年生・理系、公務員・教職員志望者除く)



(大学院2年生・理系、公務員・教職員志望者除く)



¹²⁷ 採用面接に関して、「面談」や「相談会」などの名称の下に行われた企業との接触について、それが実質的に採用面接だと感じた場合は、採用面接と考えていただくよう回答者に案内した上で得られた回答である。なお、ここでの「採用面接」は就職予定の企業のものに限らない。

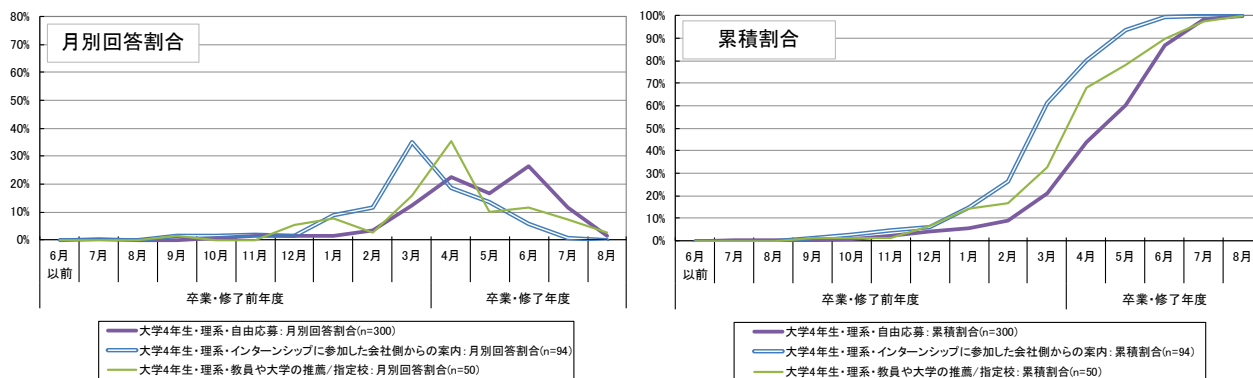
¹²⁸ ここでの集計において、「3ヶ月間程度」とは、例えば、「最初に受けた採用面接の時期」が3月、「最後に受けた採用面接の時期」が6月というように、両者の差が3ヶ月であることを意味する。したがって、「1ヶ月間程度」の分類には、最短で2日間、最長で約60日間の場合が含まれる。一方で、「同月内」の場合であっても実質的には最長で30日間である可能性もある。なお、最初と最後の月から計算しており、途中の期間に就職活動を行っていない可能性があるなど、必ずしも採用面接を受けていた実際の期間を意味するものではない点に留意が必要である。

¹²⁹ 公務員や教職員志望者に関しては、調査実施時点で採用の面接等が行われていないと想定されたことから、ここでは集計の対象外とした。また、その上で、採用面接について「特段行わなかった」と回答した者は集計の対象外とした。

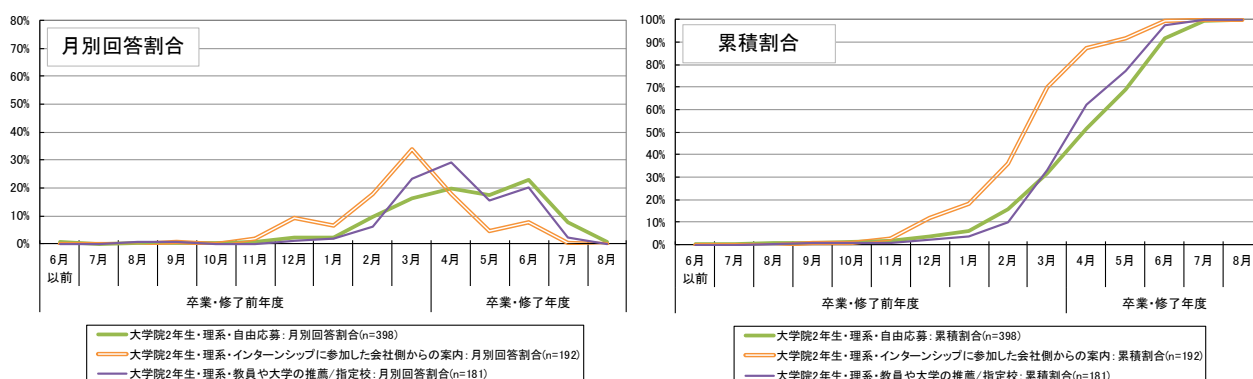
⑨就職予定の企業への入職経路別の内々定を受けた時期

就職予定の企業への入職経路別に、理系の学生の内々定を受けた時期を集計すると¹³⁰、大学4年生・大学院2年生ともに、「インターンシップに参加した会社側からの案内」であった者で、より早期の回答割合が高くなっている。

図表 6-9-1 就職予定の企業への入職経路別、内々定を受けた時期
(大学4年生・理系、公務員・教職員志望者除く)



(大学院2年生・理系、公務員・教職員志望者除く)

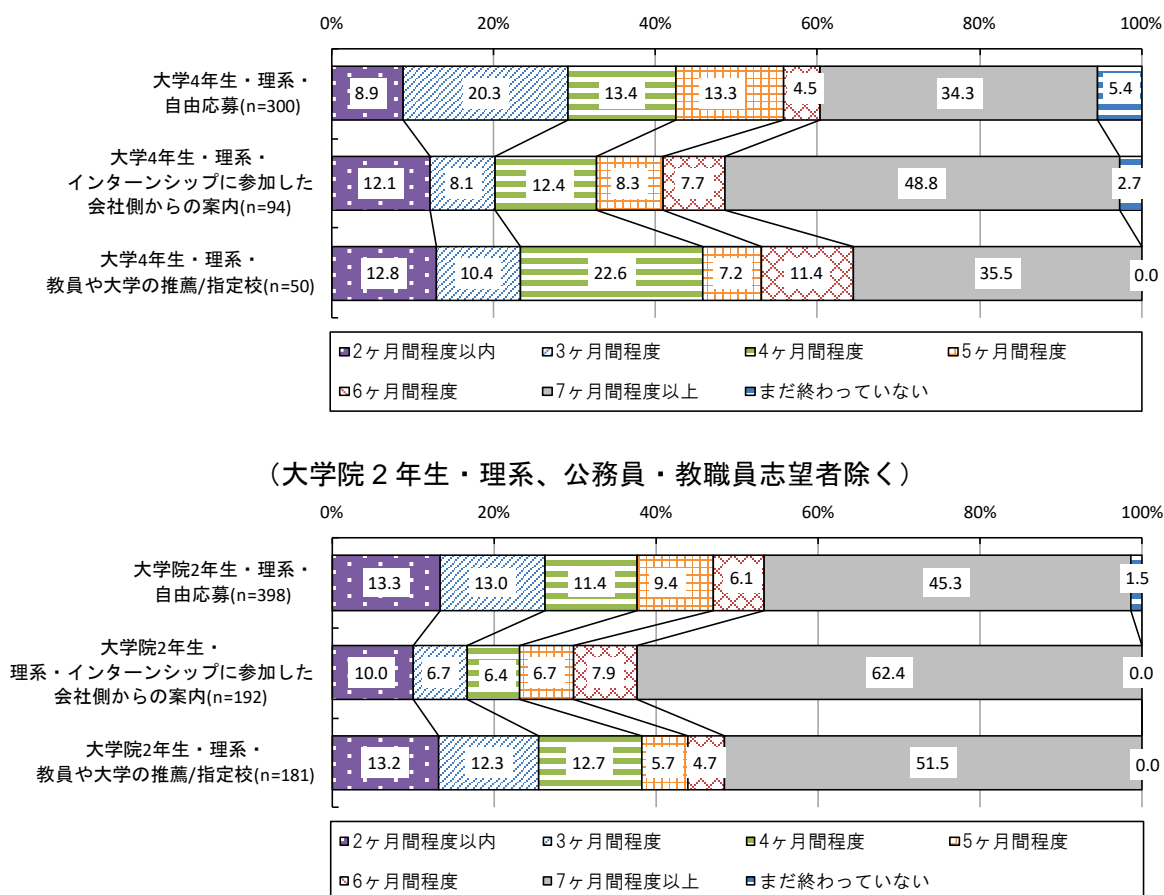


¹³⁰ 1社から内々定を受けた者はその時期について、複数社から内々定を受けた者は最初に内々定を受けた時期について集計した。なお、公務員及び教職員志望者は除いて集計を行った。ここでの「内々定」は就職予定の企業のものに限らない。

⑩就職予定の企業への入職経路別の就職活動の始まりから終わりまでの期間

就職予定の企業への入職経路別に、理系の学生の「就職活動が始まったと考える時期」から「就職活動が終わったと考える時期」までの期間¹³¹を集計すると¹³²、大学4年生・大学院2年生ともに、「インターンシップに参加した会社側からの案内」であった者は「4ヶ月間程度」以上の期間の割合が他の者と比べて高くなっており、特に「7ヶ月間程度以上」など比較的長い期間の割合が高くなっている。

図表 6-10-1 就職予定の企業への入職経路別、就職活動の始まりから終わりまでの期間
(大学4年生・理系、公務員・教職員志望者除く)



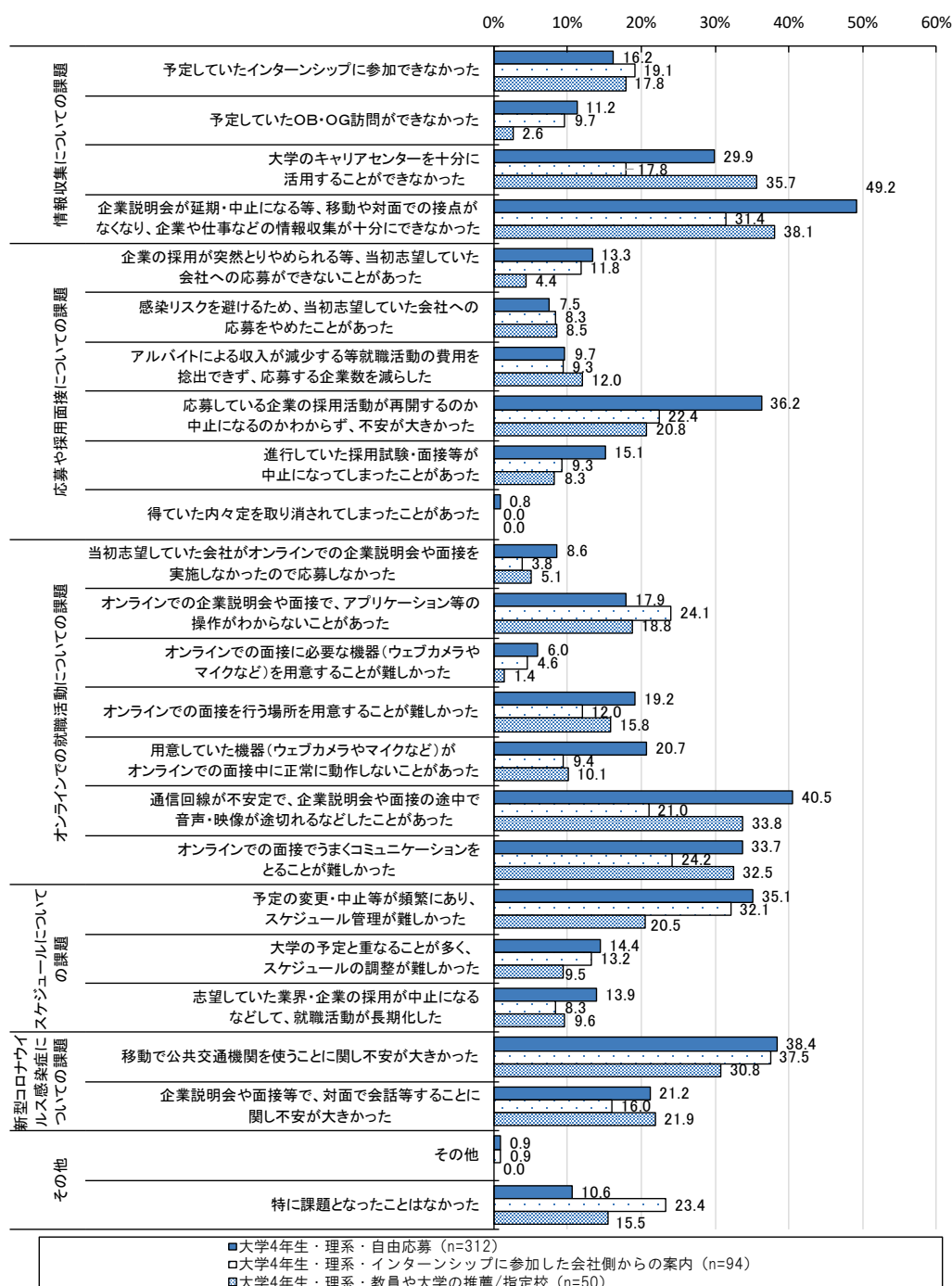
¹³¹ ここでの集計において、「3ヶ月間程度」とは、例えば、「就職活動が始まったと考える時期」が3月、「就職活動が終わったと考える時期」が6月というように、両者の差が3ヶ月であることを意味する。したがって、「1ヶ月間程度」の分類には、最短で2日間、最長で約60日間の場合が含まれる。一方で、「同月内」の場合であっても実質的には最長で30日間である可能性もある。なお、最初と最後の月から計算しており、途中の期間に就職活動を行っていない可能性があるなど、必ずしも就職活動を行っていた実際の期間を意味するものではない点に留意が必要である。

¹³² 公務員及び教職員志望者は除いて集計を行った。

⑪就職予定の企業への入職経路別の就職活動に関する新型コロナウイルス感染症による課題

就職予定の企業への入職経路別に、理系の学生について、新型コロナウイルス感染症の感染拡大の影響を受け、課題になったことを集計すると、大学4年生・大学院2年生ともに、「自由応募」「教員や大学の推薦/指定校」であった者については「企業説明会が延期・中止になる等、移動や対面での接点がなくなり、企業や仕事などの情報収集が十分にできなかった」の回答割合が最も高くなっている。なお、大学院2年生の「インターンシップに参加した会社側からの案内」であった者については「特に課題となったことはなかった」の回答割合が最も高くなっている。

図表 6-11-1 就職予定の企業への入職経路別、就職活動に関する新型コロナウイルス感染症による課題（複数回答）
（大学4年生・理系）



(大学院2年生・理系)

